

2013年11月 地域自然情報研究会



草地性鳥類のハビタット評価と 保全優先度指数による保護区選定

今井 優 氏 (立正大・院・地球環境/現:(株)プレック研究所)

保護区の選定に際しては、現実的で科学的な評価尺度に基づくことが望ましい。本研究では、保全が急がれる草地性鳥類のハビタット評価を行い、新たな指数により保全優先度を評価した。千葉県付近の57地点の鳥類調査記録と生息地の情報をもとに、29種の草地性鳥類の生息地推定モデルを構築した。鳥類のより現実的な行動を反映し、連結性を考慮したハビタットのパッチを解析単位とした。千葉県全域を推定した結果、29種中22種で70%以上の正答率を得た。また、希少種と多数の種の生息地であることの双方を評価する保全優先度指数(CPI)を考案し、評価した結果、香取市や多古町付近の水田地帯が最も保全優先度が高いと判断された。

開催日時

2013年11月16日(土) 14:30~16:30

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレス、会員種別をご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail:gcnken@gmail.com

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当:梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク(GCN)は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>